

地域歯科保健推進研修会

2024年2月1日(木) 13:30～15:00

浜松歯科衛生士専門学校2Fホール

「誰も知らない歯と口の話」

歯周病(歯肉炎、歯周炎)は、日本人の歯の喪失をもたらす主要な原因疾患です。歯周病は、成人期において有病率等が高率であること、全身疾患や生活習慣との関係が注目されていること等から、より一層の予防対策が求められています。そのため、生涯にわたって歯・口腔の健康を保つためにも、定期的な歯科受診を促し、適切な保健指導を行い、日常的に自らが予防に努めることが大切です。現在、家庭における歯予防は周知され、学齢期においても歯有病率率は経年的に減少しています。しかし、乳歯と永久歯が混在する学齢期は、みがき残しによる歯肉炎が増加する時期であり、また、多くの人が20歳代前半に歯周病菌に感染すると報告されています。歯周病の症状が現れることが多い40歳前後よりも早い段階から、医療・教育専門職がそれぞれの特性を生かし、協力して歯科保健指導することにより、歯周病に対する理解、定期的な歯科受診による早期発見・早期治療、生活習慣の改善に繋がれば幸いです。

2月14日～21日
YouTube
配信

小児歯科医

岡崎 好秀 先生 国立モンゴル医科大学歯学部 客員教授

1978年 愛知学院大学歯学部卒業 同年大阪大学歯学部小児歯科

1984年 岡山大学病院 小児歯科 講師(歯学博士 岡山大学)

2013年4月 国立モンゴル医科大学 客員教授

専門: 小児歯科・障がい児歯科・健康教育

所属学会等: 日本小児歯科学会: 指導医、日本障害者歯科学会: 認定医 評議員、日本口腔衛生学会: 認定医 評議員、禁煙科学会: 学術委員、国際歯科学士会(ICD)会員



専門は小児歯科であるが、障がいのある子どもを中心として診療している。治療終了時には、子どもを笑顔で帰すこと。すなわち「子どもの心に貯金をする」という理念の基に診療を行っている。「口は食物が入る最初の場所であるから、食物が代われば最初に変わるのは口」という視点から口腔疾患を捉えている。さらには、頭の毛の先から足の裏、さらには恐竜から宇宙にまで守備範囲を広げて、口との関わり合いについて調べることが趣味である。本人は「博学」のつもりであるが、周りからは「雑学」の域を出ていないと言われている。なかでも動物の歯に関しては詳しく、日本各地の動物園や水族館から問い合わせが来るので往診にも出かけている。おかげで最近では年に数回は「どこの教育学部出身ですか?」と尋ねられる。某有名男性コミック誌(ひよっこ料理人 ビックコミック○ジナル)に登場する歯科医師のモデルでもある。ネタ探しの参考図書は自宅にあり、屋根裏に巨大書庫を作ったが、床が抜けないかひそかに心配している。

“楽しい”ことが創造性の原点だと思い、いかにして楽しく仕事をし、“自分の仕事と趣味を一致”させることができるかを追求している。最近の低金利時代、銀行に貯金(投資)をするより、自分の将来に対して投資をした方が、利息が大きいのでは…と密かに思っている。

受講希望の方は、浜松市歯科医師会にお申込みいただくか、浜松市歯科医師会ホームページあるいは下記QRコードからご視聴ください。

主催

一般社団法人 静岡県歯科医師会

一般社団法人 浜松市歯科医師会

お問い合わせ

〒432-8023 浜松市中央区鴨江2-11-2-3F

一般社団法人 浜松市歯科医師会

TEL: 053-453-8847 FAX: 053-453-8893

E-mail: office@hamashi.com

浜松市歯科医師会
ホームページ

